

## 施設案内

<b>5F</b>	セミナールーム A・B 生活工房受付	音響・映像設備を備え、講習会や会議を行うことができます(定員48名)。A・Bの仕切りを外せば最大120名収容(机使用時は108名)。	 
<b>4F</b>	ワークショップルーム A・B	「A」はキッチンや調理器具などを備えた“ものづくり”スペース。「B」は可動パネルにより多様な展示に対応したスペース。	 
<b>3F</b>	生活工房ギャラリー 市民活動支援コーナー	生活や文化に関する様々なデザインを独自の視点で提案・発信する展示スペース。新たな発見が暮らしを彩ります。 世田谷で活動する市民活動団体のため、打合せや作業スペース、プリンタや印刷機などを備えています。	 
<b>2F</b>	ギャラリーカフェくりっく	カフェの壁面を使用した展示スペース。写真、イラスト、絵画、押し花など区民のアート作品を4週間ごとに展示します。	

- トイレにはおむつ交換台があります。個室にチャイルドシートはありません。
- 5Fには授乳室、3Fの車いす対応トイレにはオストメイト用設備を備えています。

施設のご利用について 詳しくは生活工房ホームページをご覧ください。

## アクセス



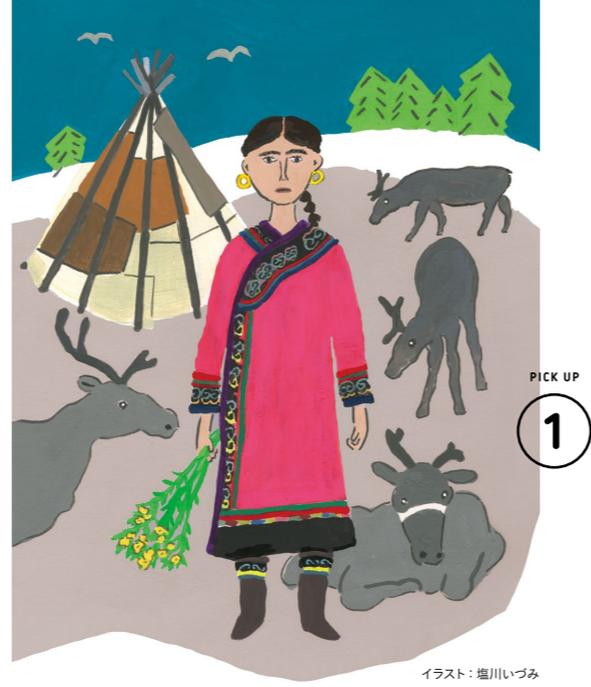
東急世田谷線「三軒茶屋」駅 直結  
東急・小田急バス「三軒茶屋」停留所そば  
東急田園都市線「三軒茶屋」駅 三茶パティオ口 徒歩5分

## お問い合わせ

(公財) せたがや文化財団 世田谷文化生活情報センター 生活工房  
〒154-0004 世田谷区太子堂4-1-1 キャロットタワー  
TEL 03-5432-1543 / FAX 03-5432-1559

website <http://www.setagaya-ldc.net/>  
twitter @setagaya\_ldc

## 世界は海でつながっている



イラスト：塩川いづみ

サハリン島(ロシア連邦サハリン州)の少数民族・ウイルタは、トナカイを飼い育てながら季節ごとに住まいを移し、狩猟・漁労生活を送ってきました。日露戦争後、サハリンの北緯50度以南が日本領(樺太)となり、ウイルタはほかの先住民族とともに定住生活を送ることを余儀なくされます。第二次世界大戦が終結した後は、オホーツク海をわたって網走に移住したウイルタもあり、サハリンでは現在約300人が暮らしています。

ウイルタに伝わる伝統的な文様は、「イルガ」と呼ばれています。渦巻きやハート形に見えるパターンが特徴的。衣服やバッグなどの布製品だけでなく、木製の食器などにも紋様が施されています。

かつてはアザラシなどの毛皮に身を包み、めぐる季節とともにトナカイを連れ、海と山とを移動しながら暮らしていた民。その手工芸品からは、環境の変化にやわらかに順応していくウイルタの生活の智慧が感じられます。

本展では、北海道立北方民族博物館が所蔵するイルガが施された衣服、靴や籠などのほか、暮らしぶりをおさめた映像を含む約50点を展示。講演会・講習会などの関連イベントも合わせ、ウイルタの手しごとと生活を紹介します。

## EXHIBITION

※関連イベントの詳細は中面へ

7つの海と手しごと vol.5

## オホーツク海とウイルタのイルガ展

10.4(土) → 11.3(月・祝) 9:00～20:00 入場無料

会場：生活工房ギャラリー 特別協力：北海道立北方民族博物館

## EXHIBITION

※詳細は中面へ

## モッズスーツと洋服の並木

11.14(金) → 12.23(火・祝) 9:00～20:00 入場無料  
会場：生活工房ギャラリー

“知る人ぞ知る”といえど語弊があるかもしれませんが、「洋服の並木」は小田急線・梅ヶ丘駅の近くにひっそりと佇むテラーです。一見すると町の仕立屋のような趣ですが、入口に掲げられたユニオンジャックが、この店の特異さをあらわしています。

60年代のイギリス。音楽とファッションに明け暮れ、独自のスタイルを築いた若者たちが「モッズ」と呼ばれました。彼らが好んで着たのが3つボタンの細身のスーツです(そして軍モノのコートをまもってスクーターにまたがった……)。スーツをオーダーし、おしゃれを競ったモッズですが、彼らのようなスタイルに憧れた日本の若者やバンドマンがスーツを仕立てに訪れたのが「並木」でした。

「並木」のモッズスーツは、先代の並木祐三さんが顧客の要望に応えるために、30年以上前に独自に研究を重ねて仕立てました。以来、「並木」ではモッズスーツが代名詞となり、日本のロック・シーンを牽引したバンドたちが愛用することで、その名前は広く知られていくことになりました。本展では、40年を超える「並木」の歴史やものづくりを紐解きながら、ミュージシャンからお笑い芸人までが身にまとった個性的なスーツの数々を紹介します。

## モッズ御用達の店「洋服の並木」



PICK UP 2

## 2014 イベントガイド

10

October



11

November



12

December



みる×しる×つくる 暮らしがわかる。

# 10・11・12月の生活工房

EXHIBITION

7つの海と手しごと vol.5

## オホーツク海と ウイルトのイルガ展

10.4(土) → 11.3(月・祝)

9:00～20:00 入場無料  
会場：生活工房ギャラリー

サハリンでトナカイとともに暮らしてきた少数民族ウイルト。イルガと呼ばれる伝統文様が刻まれた手工芸品から、その暮らしを紹介します。



上映&講演会「網走に暮らしたウイルト」

10.13(月・祝) 10:30～12:30 会場：セミナールームA・B

網走に暮らしたウイルトを取材した映像の上映とその解説、そしてイルガの切り紙も体験します。

講師：笹倉いる美(北海道立北方民族博物館)

参加費：700円(ロシアの紅茶とお菓子つき) / 50名(先着) 申込：電話かメールにて

記録映像上映「サハリンのウイルトを訪ねて」

10.25(土) 12:00 / 14:00 / 16:00 (3回上映・上映時間50分)

会場：ワークショップルームB

国立民族学博物館監修・札幌映像プロダクション製作の記録映像を上映します。

参加費：無料 / 各回50名(先着) 申込：不要。当日直接会場へ

講習会「ウイルト刺繍のコースター／オーナメント」

11.1(土) 13:00～16:00 会場：ワークショップルームA

ウイルト刺繍の基本を学び、コースターまたはオーナメントに仕上がります。

講師：ウイルト刺繍サークル フレップ会 参加費：2,000円(材料費込) / 20名(抽選)

申込：往復ハガキかメールにて。締切10月20日(月) 必着

パオフェスタ2014

## 市民活動体験喫茶パオ

10.18(土) | 19(日)

11:00～18:00 入場無料  
会場：市民活動支援コーナー(生活工房3F)

市民活動支援コーナー登録団体の活動を、楽しい体験コーナーやパネル展示で紹介する喫茶スペースです。



WORKSHOP

EXHIBITION

## モッズスーツと洋服の並木

11.14(金) → 12.23(火・祝)

9:00～20:00 入場無料  
会場：生活工房ギャラリー

小田急線・梅ヶ丘駅にある「洋服の並木」は、モッズスーツで知られる仕立屋です。仕立てられたスーツとともに40年に及ぶ「並木」の歴史を紐解きます。

※関連プログラムは10月初旬にホームページでお知らせします。



WORKSHOP

## 子どもワークショップ 分解ワークショップ 家電製品の仕組みを探ろう!

11.16(日) 13:30～17:00

会場：ワークショップルームA・B

身近な家電製品(パソコン、電子レンジなど)の仕組みを、メーカー協力のもと、自分で分解しながら調べます。

講師：株式会社 東芝 企画監修：金子金次 対象：小学3年生～中学生の親子2人1組  
参加費：1,000円 / 20名(抽選) 申込：往復ハガキにて。締切11月5日(水) 必着



EVENT

## JAPONDER 2014 Fusion Peru

留学生を通して世界を知るJAPONDER。今年南米のペルー共和国の「フュージョン(融合)」という食文化の潮流を体験します。

ドキュメンタリー上映会

『ペルー・サベ』

11.22(土) 10:30～12:30 / 14:00～16:30 (2回上映)

会場：ワークショップルームB

「エル・プリ」の料理長フェラン・アドリアがペルーを巡った食の旅と、一流シェフを夢見るペルーの料理学校の若者たちを追った料理ドキュメンタリー。各上映会後ミニトーク、交流会も予定。(監督：ヘスス・マリア・サントス、2012年、ペルー、70分)

ゲスト：パネッサ ロシオ ブラカモンテ レスマ 参加費：500円 / 各回50名(先着)  
申込：不要。各回20分前より会場にて受付



## ペルーの伝統料理× フュージョンフードの料理教室

11.23(日・祝) 10:00～15:00 会場：ワークショップルームA

留学生から伝統的な家庭料理を、日本人の出張料理人からはペルーの食にインスピレーションを得たフュージョン料理を習います。

講師：パウラ サノニ、西野優(ピリカタント/妄想都市食堂) 対象：20歳以上  
参加費：1,500円 / 20名(抽選) 申込：往復ハガキかメールにて。締切11月11日(火) 必着

EXHIBITION

## DAYS JAPAN 写真展2014

地球の上に生きる

11.29(土) → 12.15(月)

11:00～19:00 入場無料  
会場：ワークショップルームB

報道写真誌『DAYS JAPAN』が主催する【DAYS国際フォトジャーナリズム大賞】。生活工房では2014年度を受賞作による写真展を開催します。



「インド 反原発運動」 photo by アミツクラジ・ステファン

WORKSHOP

トークイベント「ジャーナリストの視点から」

11.29(土) 14:00～16:00 会場：ワークショップルームA

講師：広河隆一(フォトジャーナリスト、DAYS JAPAN元編集長)

参加費：500円 / 60名(先着) 申込：10月25日(土)より電話かメールにて

WORKSHOP

SUNDAY MORNING WORKSHOP #3

## 朝のクリスマスケーキとリースの ワークショップ

12.7(日) | 14(日) ※2回完結

10:00～13:00(予定) 会場：ワークショップルームA

クリスマスを楽しむ美味しいケーキとリース作りを学びます。

※申込・詳細は10月中旬にホームページでお知らせします。

WORKSHOP

時のフィールドワークショップ vol.1

## いちねん(仮称)

12月22日は冬至。北半球では日照時間が最も短く、太陽が生まれ変わる一年の始まりの日とされました。私たちの暮らしと自然のさまざまな律動が作る新たな一年を、一緒に探っていきましょう。

12.21(日) ※時間未定 会場：ワークショップルームA他

企画制作：sesensitka

※申込・詳細は10月中旬にホームページでお知らせします。

EVENT

森・里・海の連環による豊かな海づくり

## 「レリーフジオラマ」上映会

入場無料

会場：キャロットタワー2F・八角堂

自然の営みと人の関わりを紹介する映像作品(約5分)を上映します。上映スケジュールや詳細はホームページをご覧ください。



WORKSHOP

## 稲藁と羊毛でつくる “未年”の正月飾り

12.26(金) 「稲藁の祝い飾り(基本形)」

12.27(土) 「未年の祝い飾り  
(稲藁+羊毛の応用形)」

各日13:30～16:30  
会場：ワークショップルームA・B

1月に開催予定の《羊毛文化》企画展に先駆けて、新年を迎えるための正月飾りを、藁とともに羊毛を材料につくりま。

進行：サナダスタジオ

※申込・詳細は10月中旬にホームページでお知らせします。



### セミナー

朗読講座 豊かなことばの世界

ことばの持つ豊かさ、力、輝きを「朗読」を通して体感します。NHK日本語センターアナウンサーが講師となり、声の出し方、読み方などを丁寧に指導します。

1 水曜教室(午前・午後) シリーズ〈名作を読む〉

11.26(水) | 12.3(水) | 10(水) | 17(水)

午前各回10:30～12:30 午後各回13:30～15:30

講師：岩井正(NHK日本語センター)

朗読作品：マーク・トウェイン著、村岡花子訳『王子と乞食』

2 木曜教室 シリーズ〈名作を読む〉

11.27(木) | 12.4(木) | 11(木) | 18(木) 各回13:30～15:30

講師：秋山隆(NHK日本語センター) 朗読作品：堀辰雄著『風立ちぬ』

3 金曜教室 シリーズ〈はじめての朗読〉

11.28(金) | 12.5(金) | 12(金) | 19(金) 各回13:30～15:30

講師：藤原尚武(NHK日本語センター) 朗読作品：志賀直哉著『或る朝』

会場：セミナールーム

受講料：一般20,500円、アーツカード18,500円 / 15名(先着)

問・申込：(一財)NHK放送研修センター

TEL. 03-3415-7121(受付時間9:00～18:00) HP <http://www.nhk-cti.jp/>

### ギャラリーカフェくりっく

開催中 → 10.18(土) 第3回ゆりの会シェイプアート展

10.19(日) → 11.15(土) アトリエばーばらの会

11.16(日) → 12.13(土) 世田谷木版画の会

12.14(日) → 1.17(土) シルクスクリーン版画展

### ワークショップ/セミナーの申込方法

●電話 03-5432-1543

●往復ハガキ/メール [希望イベント名・希望日・住所・氏名・年齢(学生は学年も)・電話番号を明記の上、下記宛先まで]

ハガキ：154-0004 世田谷区太子堂4-1-1キャロットタワー 生活工房宛  
メール：info@setagaya-ldc.net(件名に希望イベント名を明記)

